

都市再生整備計画 事後評価シート

黒石市中心拠点地区

令和8年2月

青森県黒石市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県	市町村名	黒石市	地区名	黒石市中心拠点地区			面積	34.2ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	2795.0百万円	国費率	0.5				
事業名											
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	誘導施設(図書館)、高次都市施設(地域交流センター)、地域生活基盤施設(広場)								
		提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	なし								
	新たに追加した事業	提案事業	なし								
		基幹事業									
	提案事業	社会実験(まちづくり活動推進事業)			地域生活基盤施設(広場)及び高次都市施設(地域交流センター)の事業計画の見直しにより、提案事業(まちづくり活動推進事業)を追加			影響なし			
	交付期間の変更	当 初	令和2年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
		変 更	令和2年度～令和6年度								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期間	
	指標1	中心市街地への新規出店数	店/(R1-5)	10	H29	15	R6	モニタリング	評価値	ありなし	
	指標2	中心市街地への歩行者通行量(4地点)	人/日	2,280	H29	2,630	R6			ありなし	
	指標3	コミュニティバスの利用率	人口比率/年	市総人口の1.14倍	H29	市総人口の1.19倍	R6			ありなし	
	指標4									ありなし	
	指標5									ありなし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期間	
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況		今後の対応方針等			
	モニタリング		-			都市再生整備計画に記載し、実施できた		-			
	官民連携による取組		まちなかの広場や施設を利用したイベント開催等の社会実験 まちなかの施設整備に関するワークショップの開催			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		-			
	持続的なまちづくり体制の構築		-			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		○ 得られたデータを活用し、施設運営を行っていくほか、地域の団体が主体となってイベント等の開催ができるよう支援していく。			

様式2-2 地区の概要

黒石市中心拠点地区(青森県黒石市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値	
【大目標】都市機能を歴史的・文化的資源（「こみせ」や「かぐじ」）を介して往来できる環境の創出による回遊性の向上及び多様な世代・人々が集うにぎわいのあるまちづくり （目標） ①回遊バスぶらっと号の利便性向上及び歴史的・文化的資源を活かした回遊性の向上による歩行者通行量の増加 ②新たな交流拠点の形成による賑わい創出と交流人口の増加	中心市街地への新規出店数 単位:店/(R1~5)	10	H29	15	R6	33	R6
	中心市街地への歩行者通行量(4地点) 単位:人/日	2,280	H29	2,630	R6	2,646	R7
	コミュニティバスの利用率 単位:人口比率/年	市総人口の1.14倍	H29	市総人口の1.19倍	R6	市総人口の0.91倍	R6
	単位:		H		R		R
	単位:		H		R		R

まちの課題の変化	<p>これまで当市になかった市立図書館(R4)、子育て世代等への活動支援機能を含む地域交流センター及び地域交流センターと一緒にした広場を整備(R6)したことにより、回遊性の向上及び多様な世代・人々が集うにぎわいの創出に繋がっている。</p> <p>「黒石市中心拠点地区都市再生整備計画事業」と並行して、「黒石市中心市街地活性化基本計画(R1~R5)に基づき、複合宿泊施設(民間)が整備(R2)されたことにより、周辺への新規出店者が増え、商店街の活性化に繋がっている。</p> <p>また、「こみせ」などの伝統的な景観の保全・形成並びに、街なかを回遊できる歩行者ネットワーク構築のため、道路の美化(R3)、景観の復元(R3)を行ったことにより、魅力ある歩行者空間の確保が図られた。</p>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館及び市民サービス施設の適正な運営に努める。 新たな交流拠点の形成による中心市街地としての交流空間としての価値を高め、にぎわいの創出を図る。 歴史的・文化的資源を生かした回遊性の向上を図る。